

◆学校沿革

昭和50年	第1期工事 ○鉄筋4階建1棟(普通教室11、他) ○鉄骨平屋建1棟(特別教室、技術2)
昭和51年4月	開校 初代校長 大久保 俊夫 着任
7月	第2期工事着工 ○鉄筋4階建増築(普通教室12、特別教室理科2、家庭2、音楽1、美術1、図書1、管理諸室) ○屋外運動場(1,025㎡)○用務員棟(41㎡) ○フェンス、校門、バックネット、砂場の新設
昭和52年3月	第2期工事完工
4月	サブグラウンド(恵解山古墳前)完成
昭和53年7月	プール(8コース25m)完成
昭和57年4月	第2代校長 佐々木 達三 着任
昭和58年3月	プレハブ2教室完成
昭和59年3月	第3期工事完成
4月	第3代校長 小西 宏 着任 ○鉄筋4階建増築(普通教室7、音楽1、美術1、相談室3)
昭和61年4月	第4代校長 中嶋 正文 着任 道徳教育府研究指定校(61・62年度)
平成2年4月	第5代校長 原 英雄 着任
平成5年4月	同和教育市研究指定校(5・6年度)
平成6年4月	第6代校長 塩見 正弘 着任
平成7年3月	武道場(492㎡)完成
4月	性教育市研究指定校(7・8年度)
平成9年4月	教育実践ポイント校選択教科(9・10年度)
平成10年4月	第7代校長 山口 光則 着任
平成11年4月	教育課程の基準改善のための教育研究開発校指定(文部省・市教委)(11・12・13年度)
平成12年4月	第8代校長 木本 謙一郎 着任
平成13年4月	教育研究開発校(文部省委嘱・市教委指定)
平成15年4月	第9代校長 筈廣 啓史 着任
平成16年4月	第10代校長 天花寺 博司 着任 学校を中心とした食育推進事業中心実践校(文部科学省委嘱)(16・17・18年度) NIE実践校(日本新聞教育文化財団)
平成18年4月	第11代校長 原 純夫 着任 「京の子ども、夢・未来校(国語力向上拠点校)」(府教委指定、市教委研究指定)
平成19年4月	「京の子ども、夢・未来校(国語力向上拠点校)」
平成22年4月	「京の子ども、夢・未来校(中学校学力向上実践校)」(府教委指定、市教委研究指定)(22・23年度) 校舎耐震工事完成
平成23年4月	第12代校長 一ノ瀬 澄夫 着任
平成25年4月	「乙訓かがやき校」(乙訓教育局、市教委研究指定)(24・25年度)
平成26年4月	第13代校長 三輪 秀文 着任
平成28年4月	第14代校長 大木 義文 着任
平成29年4月	第15代校長 藤本 敦郎 着任
平成31年3月	給食配膳室、エレベーター完成
平成31年4月	第16代校長 縄手 健也 着任
令和元年5月	給食開始
令和2年4月	「OASIS校」乙訓教育局(令和2年度)
令和3年4月	第17代校長 大柳 充 着任
令和5年4月	「乙訓学力充実校」乙訓教育局(令和5年度)
令和6年4月	第18代校長 小山 慎也 着任